

旧三井文庫第二書庫の国登録有形文化財登録について

(備考) （調査等）	特徴・評価	登録基準	建設年代等	所在地	名称
<p>建築年代は『三井文庫沿革並庫員入社年月調』による。設計は当時東京帝国大学営繕課長の山口孝吉。関東大震災後の大正一五年に、防火に配慮して開口部を市松状にコンクリートで閉塞した。</p>	<p>区立公園文庫の森に建つ、三井家史料管理のための書庫。鉄筋コンクリート造、二重の壁式構造で、一階を含む各階床と三階天井は鉄筋コンクリート造スラブとし、防火に優れた堅牢な造り。書架の鉄骨支柱で床を支持するなどの工夫がみられ、技術的価値が高い。</p>	<p>二 造形の規範となっているもの</p>	<p>大正一一年／大正一五年改修</p>	<p>東京都品川区豊町一丁目一三一一</p>	<p>旧三井文庫第二書庫</p>

